

大崎市民病院鳴子温泉分院新病院建設実施設計の概要について

1 施設整備概要

- (1) 延べ床面積 3,367.11㎡
- (2) 構造 鉄筋コンクリート構造
- (3) 駐車台数 161台（当初51台分を整備し、残りは現施設解体後に整備）
- (4) 総病床数 40床（うち4床室8室（32床）・1床室8室（8床））
- (5) 整備概要
 - ① 患者中心の設計によるQOL（生活の質）の向上
 - ・外来診察室が患者に分かりやすいように、エントランスホール近くに配置
 - ・車椅子及びストレッチャー等の移動に支障がない幅員の確保
 - ② 効率的な動線計画
 - ・2台のエレベータを設置し外来患者用と職員及び管理用に明確に分けることで、外来患者と職員の動線が交差しないように設計
 - ・来院者車両は建物南側、救急車は東側、サービス車両は北側と動線を分離
 - ・バス及びタクシーが円滑に運行できる動線の確保
 - ③ 耐震性
 - ・鉄筋コンクリートによる耐震構造
 - ④ 災害時の医療機能維持
 - ・非常用電源装置の設置（約72時間稼働可能）
 - ・地盤面の嵩上げ（土砂災害対策）
 - ⑤ 環境への配慮
 - ・豪雪地帯の環境を考慮した空調設備及び建設部材の採用
 - ⑥ 防犯及びセキュリティ
 - ・入室制限可能なカードキーシステムの採用
 - ・防犯カメラの設置
 - ⑦ 経済的で効率的な施設
 - ・個別制御性が高く運転管理も容易な電気式パッケージエアコンの採用
 - ⑧ 地元資源の活用
 - ・温泉浴室の整備（1階）
 - ・温泉を利用した熱交換システムの整備
 - ・1階エントランス天井や廊下の腰壁等への大崎市産木材の採用

2 今後のスケジュール

- (1) 設計業務 平成30年11月～令和元年10月
- (2) 入札・契約手続 令和元年11月～令和元年12月
（建設、電気、管工事の3工種分離発注）
- (3) 建設工事 令和2年1月～令和3年3月
- (4) 新病院開院 令和3年6月（予定）
- (5) 旧病院解体工事 令和3年度

<コンセプト>

地域に根ざした温かく親しみやすい病院

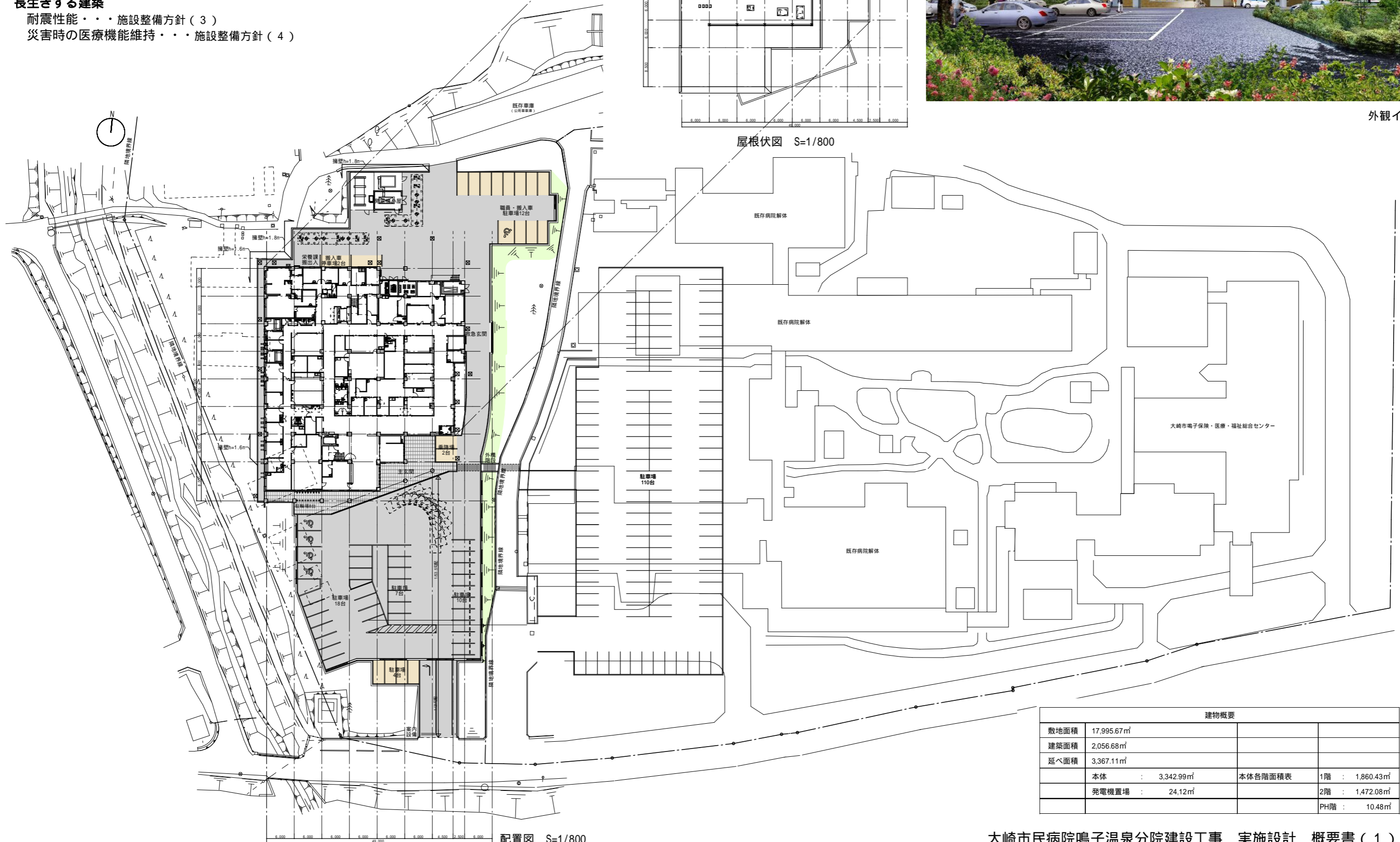
- 患者中心の設計によるQOL（生活の質）の向上・・・施設整備方針（1）
- 環境への配慮・・・施設整備方針（5）

コンパクトで機能的な病院

- 効率的な動線計画・・・施設整備方針（2）
- 防犯・セキュリティ対策・・・施設整備方針（6）
- 公営企業として経済的で効率的な施設・・・施設整備方針（7）

長生きする建築

- 耐震性能・・・施設整備方針（3）
- 災害時の医療機能維持・・・施設整備方針（4）



外観イメージ図

建物概要			
敷地面積	17,995.67㎡		
建築面積	2,056.68㎡		
延べ面積	3,367.11㎡		
本体	3,342.99㎡	本体各階面積表	1階 : 1,860.43㎡
発電機置場	24.12㎡		2階 : 1,472.08㎡
			PH階 : 10.48㎡

